

News Letter Vol. 13

2026年7月発行

このニュースレターでは学生達の活躍、講義や実習の様子、学科の取り組み、動物豆知識などを紹介します。獣医保健看護学科に興味を持ってくれた高校生の皆さんとのコミュニケーションツールになればと思っています。

2026年4月より、2名の新しい教員を獣医保健看護学科にお迎えしました。 その2名の教員からのメッセージを紹介します。

赤瀬悟（あかせ さとる）准教授

4月より獣医保健看護学科に着任しました。これまで私は、鶏肉によるカンピロバクター食中毒の予防に関する研究を行ってきました。特に、鹿児島・宮崎の郷土料理である「鳥刺し・鳥たたき」に注目し、生食用鶏肉の衛生管理に関する研究に取り組んできました。

食品衛生や食の安全は、私たちの日常生活に直接関わる分野です。また、現在はイノシシ等の野生動物対策についても勉強しています。狩猟免許の取得を通じて地元猟友会の皆様と交流しながら、地域のジビエ料理の普及やお肉の安全管理にも貢献できればと考えています。

大学では、食中毒予防の実例や現場での経験を交えながら、「動物と人の暮らしを安全につなぐ視点」を大切にしています。高校生のみなさんには、動物を学ぶ楽しさとともに、社会の安全を支える学びの面白さも感じてもらえれば嬉しいです。大学で一緒に学べる日を楽しみにしています。



岡林佐知（おかばやし さち）准教授

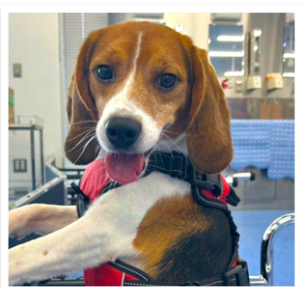
4月から獣医保健看護学科に着任いたしました。前職では電車で通勤していましたが、今は大学まで毎日自転車に通っています。学生時代は病理学研究室に在籍し、動物園動物や霊長類の病気について研究を行っていました。社会人になってからは、獣医師として動物病院、病理検査会社、霊長類施設と様々な職場を渡り歩いてきました。いずれの職場にも、動物看護師や実験動物技術者など獣医師以外の専門家がおり、彼らの専門的知識と技術にたくさん支えられてきました。

本学の獣医保健看護学科では様々な獣医関連分野で活躍できる専門家の育成に取り組んでおり、大学の授業カリキュラムも非常に多彩で面白いと思います。大学院に進み研究を続ける学生もいます。今はまだ将来の目標が決まっていなくても、少しでも動物や生命科学に興味があれば、4年間の学生生活で、きっと自分の進みたい道が見つかると思います。ぜひ、獣医関連分野の専門家を一緒に目指しましょう！



獣医保健看護学科には、学生たちの学びを支えてくれる9匹の実習犬がいます。
今回は、その中から昨年の夏に新たに仲間入りした4匹を紹介します！

ジョイ



額にある「J」のような模様がチャームポイント。社交的で好奇心旺盛、少し能天気な男の子です。

おもちゃは何でも好きですが、特にサッカーボールのおもちゃがお気に入りです。夢中になると、布のおもちゃを噛みちぎろうとすることもあります。

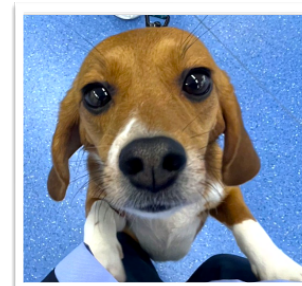
レオ



がっしりとした体格と、どこか物憂げな表情がチャームポイント。内向的で用心深い男の子です。

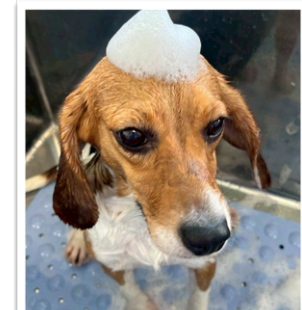
音が鳴るおもちゃが大好きですが、他の犬がいないと、おもちゃより仲間の方が気になることも。ジョイとはなぜか喧嘩になることもありますが、すぐに仲直りする不思議な関係です。

まる



丸い目と小柄な体がかわいらしい、子犬のようなあどけない顔の女の子。ひとり遊びが上手です。おもちゃが大好きで基本的に何でもくわえて遊びます。「ちょうだい」と言うと、おもちゃを渡してくれるお利口さんです。

さくら



顔が小さくてスタイルのよい美人さん。実は、とってもおてんばで怖いもの知らず！ジャンプ力も抜群で、人が大好きです。

おもちゃではあまり遊びませんが、最近では先輩犬のうめとも一緒に遊ぶようになりました。

先輩犬 うめ



発行元 岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科

お問い合わせ先

〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3

TEL（代表）：0898-52-9000

